

池二管第 13号

令和6年7月10日

参考見積募集要領

有資格業者 各位

独立行政法人水資源機構

池田総合管理所長 一ノ瀬 泰彦

次のとおり、池田ダム右岸法面調査解析業務（仮称）の参考見積を募集します。

令和 6年 7月10日

1. 目的

この参考見積の募集は、池田総合管理所で予定している業務の積算の参考とするための作業歩掛、資機材単価の見積を募集するものです。

なお、この参考見積書をご提出いただいたことで、業務発注の指名又は競争参加資格をお約束するものではありません。

ご提出いただいた参考見積書は、業務積算の目的以外には使用いたしません。

2. 参考見積書提出の資格

- (1) 水資源機構における令和5・6年度一般競争（指名競争）参加資格業者の認定を受けていることとします。
- (2) 営業に関し法律上必要とされる資格を有していることとします。
- (3) 水資源機構から「工事請負契約に係る指名停止等の措置要領」（平成6年5月31日付け6経契第443号）に基づき、吉野川水系関連区域において指名停止を受けていないこととします。

3. 参考見積書の提出等

参考見積書は、次に従い提出してください。

- (1) 参考見積書は、作業項目毎に必要な作業員、資機材の人数等を記載して提出して下さい。
- (2) 提出期間：令和6年7月23日（火） から令和6年7月29日（月） まで
ご持参いただく場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後4時まで
- (3) 提出先及び宛名

独立行政法人水資源機構 池田総合管理所長 一ノ瀬 泰彦 宛

【担当】総務課 丸山（マルヤマ）、野澤（ノザワ）、松岡（マツオカ）

〒778-0040 徳島県三好市池田町西山谷尻 4235-1

電話：0883-72-2050 F A X：0883-72-0727

メールアドレス：JWA_ikeda@water.go.jp

(4) 提出方法

書面は持参、郵送、F A Xまたはメールのいずれかの方法によりご提出ください（押印省略の場合は、押印省略の事項を必ずご記載ください）。

(5) 見積有効期限

令和7年3月31日までとし、必ず記載してください。

(6) 提出様式

様式は自由としますが、別紙1を参考に以下の内容を必ず記載してください。

- ・文書番号（池二管第〇〇号）
- ・宛名（独立行政法人水資源機構 池田総合管理所 一ノ瀬 泰彦）
- ・提出者名（代表者 又は 代表者から委任を受けた者）と押印
- ・提出日
- ・見積有効期限

また、押印を省略する場合は、余白等へ以下の事項を必ず記載してください。

- ・本件責任者（会社名・部署・氏名）
- ・本件担当者（会社名・部署・氏名）
- ・連絡先1 ※代表電話等
- ・連絡先2 ※部署直通やご担当者の携帯番号等

4. 参考見積内容

(1) 業務基本条件

ダムサイト右岸法面の既設アンカーについて、健全性調査による評価・解析を行うものである。

(2) 作業項目、作業内容及び作業数量

別添資料-1、別添資料-2のとおりとします。

(3) 業務の構成と参考見積徴取範囲

- ① 本歩掛参考見積を適用する業務費の構成は、当機構が別に制定する「積算基準及び積算資料（各編）」（以下「基準書」という。）によるものとします。
- ② 歩掛参考見積徴取範囲は基準書で定義されている直接業務費のうち、上記（1）「作業項目、作業内容及び作業数量」を実施する為に必要な作業員、資機材の人数等を徴取します。

(4) 作業員の職種と定義

国土交通省が公表している「令和6年度設計業務委託等技術者単価」における「技術者の職種区分定義」によるものとします。

(5) 見積条件

見積価格は、消費税抜きとしてください。また、見積書に消費税を含んでいない旨を記載してください。

5. 募集要領に対する質問

この募集要領に対する質問がある場合においては、次に従い、書面により提出してください

- (1) 提出期間：令和6年7月12日（金） から令和6年7月18日（木） まで
持参する場合は、上記期間の土曜日、日曜日及び祝日を除く毎日、午前9時から午後4時まで
- (2) 提出場所：3. (3) に同じ。
- (3) 提出方法：3. (4) に同じ。
- (4) 提出様式：様式は自由としますが、別紙2を参考に以下の事項を必ず記載してください。
 - ・文書番号（池二管第〇〇号）
 - ・宛名（独立行政法人水資源機構 池田総合管理所 一ノ瀬 泰彦）
 - ・提出者名（代表者又は代表者から委任を受けた者）と押印
 - ・提出日
 - ・質問事項

また、押印を省略する場合は、余白等へ以下の事項を必ず記載してください。

- ・本件責任者（会社名・部署・氏名）
- ・本件担当者（会社名・部署・氏名）
- ・連絡先1 ※代表電話等
- ・連絡先2 ※部署直通やご担当者の携帯番号等

6. 質問に対する回答

質問に対する回答書は、次のとおり閲覧に供します。

- (1) 閲覧期間：令和6年7月22日（月） から令和6年7月29日（月） まで
- (2) 閲覧方法：池田総合管理所ホームページの新着情報に掲載します。
池田総合管理所ホームページ (<https://www.water.go.jp/yoshino/ikeda/index.html>)

7. 参考見積書作成及び提出に要する費用

恐れ入りますが、参考見積提出者のご負担とさせていただきます。

8. 問い合わせ

ご提出いただいた参考見積書の内容について、こちらより問い合わせをさせて頂くことがあります。

別紙1 <見積書参考様式> (例)

※様式は自由となりますが、以下の例に記載する事項は必ず記載をお願いいたします。

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構分任契約職

池田総合管理所長 一ノ瀬 泰彦 殿

住 所

会 社 名

代 表 者 氏 名

印

見 積 書

(件 名) 池二管第〇〇号にかかる参考見積案件

作業項目	作業内容	作業数量
健全性調査	準備作業	1 業務当たり
〃	現地調査 (現地確認, 外業)	1 業務当たり
〃	現地調査 (結果報告, 内業)	1 業務当たり
〃	観測計器設置 (地下水位計)	1 孔当たり
〃	観測計器	1 式
〃	観測 (地下水位)	1 孔あたり 1 回当り
〃	リフトオフ試験	10 箇所当り
〃	頭部詳細調査	10 箇所当り
〃	頭部背面調査	10 箇所当り
〃	分布図作成 (法枠部)	1 式
〃	分布図作成 (擁壁部)	1 式
〃	分布図による法面健全性評価	1 式
〃	報告書作成	1 業務当たり

見積有効期限: 令和7年3月31日

・本件責任者 (会社名・部署・氏名) : _____

・本件担当者 (会社名・部署・氏名) : _____

・連絡先1 : _____

・連絡先2 : _____

令和 年 月 日

独立行政法人水資源機構分任契約職

池田総合管理所長 一ノ瀬 泰彦 殿

住 所
会 社 名
代 表 者 氏 名

印

質 問 書

(件 名) 池二管第〇〇号にかかる参考見積案件

番号	質 問 事 項
①	~~~~~。
②	~~~~~。
③	~~~~~。
	・本件責任者（会社名・部署・氏名）： _____
	・本件担当者（会社名・部署・氏名）： _____
	・連絡先 1： _____
	・連絡先 2： _____

- 注) 1. 質問事項ごとに番号を付するものとする。
2. 質問は代表者及び代表者から委任状により委任を受けた者が行うものとする。
3. 持参・郵便で質問事項が 2 ページ以上に及ぶ場合、袋とじの上、割り印を行うものとする。

※本様式は、水資源機構本社 HP の以下に掲載しています。

<https://www.water.go.jp/honsya/honsya/keiyaku/service/ukeoi/kouji/kouji.html>

(ホーム → 入札・契約情報 → 様式提供サービス → 請負契約等において使用する様式 → 建設工事に係る様式 → 番号 10)

作業内容

第 1 節 業務目的

本業務は、ダムサイト右岸法面の既設アンカーについて、健全性調査による評価・解析を行うものである。

第 2 節 業務内容

2-1 準備作業

受注者は、貸与資料等より、現地調査、健全性の評価等に必要な資料の収集、整理を行うものとする。

貸与資料

観測計器	数量	観測記録	備考
地盤傾斜計観測データ	12 基	1976 年～ (2 回/月)	
坑内伸縮計観測データ	12 基	2003 年～2016 年 2019.8～	2017 年から 2019 年 7 月までは故障のため未計測
変位測量データ	7 カ所	2012 年～ (1 回/年)	
クラックマップ		2011 年～ (1 回/年)	コンクリート吹付法面
池田ダムサイト右岸地回り解析などの資料	3 冊	昭和 48 年度～昭和 50 年度	業務報告書
池田ダム右岸法面安定性評価等業務 (R2)	1 冊		法面の健全性の評価手法の検討
池田ダム右岸法面健全性評価等業務 (R4)	1 冊		法面の健全性の評価を行う。
池田ダム右岸法面調査解析業務 (R5)	1 冊		法面の健全性の評価を行う。
地回り関係図面	1 式		平面図等 11 枚
池田ダム工事誌	1 冊		

2-2 現地調査

ダムサイト右岸法面の既設安定化対策工（アンカー工、排水工）について目視による現況確認を行うとともに、法面維持管理計画の検討に必要な既設観測計器の位置及び状況、クラック現況の確認を行い、現地調査結果を報告するものとする。（対象範囲は参考図 1 に示す。）

2-3 一般調査

2-3-1 観測計器設置

参考図1に示す観測孔（B-1W）の深度10m付近に、地下水位計を設置するものとする。

地下水位計は、圧力センサとデータロガー部が一体化した以下に示す仕様とし、受注者は、設置に先立ち、仕様、品質証明資料等を提出し、監督員の承諾を得るものとする。

<仕様：地下水位計>

測定方式	圧力センサ
測定範囲	0m～10m
測定精度	±0.1%FS
記録間隔	1時間

2-3-2 観測

参考図1に示す観測孔（B-1、B-2）の2箇所、挿入式孔内傾斜計により、2回/月の頻度で観測を行うものとする。

参考図1に示す観測孔（B-1W）に設置した地下水位計の観測データを、1回/月の頻度で回収するものとする。

2-4 法面健全性調査

参考図1に示す箇所で、法面健全性調査を行うものとする。

法面健全性調査の対象箇所は20箇所（法枠部10箇所・擁壁部10箇所）とする。

法面健全性調査は、グラウンドアンカー維持管理マニュアル（2020年9月）（国立研究開発法人 土木研究所、一般社団法人 日本アンカー協会、国立大学法人 三重大学、株式会社 高速道路総合技術研究所 編）によるものとする。

2-4-1 リフトオフ試験

センターホールジャッキ又は特殊ジャッキ等を用いてリフトオフ試験を行う。

残存引張り力や変位特性の試験を行い、試験結果をとりまとめるものとする。

リフトオフ試験は、足場仮設ではなく、ロープワークで作業を行うものとする。

2-4-2 頭部詳細調査

ハンマー、電動ピック等を用いて頭部目視調査および頭部露出調査を行い、調査結果をとりまとめるものとする。

頭部詳細調査は、足場仮設ではなく、ロープワークで作業を行うものとする。

2-4-3 頭部背面調査

センターホールジャッキやジャッキチェアーなどの特殊治具を用いて緊張力を解除し、テンドンの腐食状況、支圧板背面調査等を行い、調査結果をとりまとめるものとする。

のとする。

頭部背面調査は、足場仮設ではなく、ロープワークで作業を行うものとする。

2-4-4 分布図作成

2-4-1～2-4-3の結果および令和4、5年度に実施した健全性評価の成果をもとに、残存緊張力分布図、設計アンカー力比分布図及び健全度判定区分図を作成するものとする。

2-4-5 分布図による法面健全性評価

2-4-1～2-4-4の結果をもとに法面挙動の経過観察又はアンカーの更新について評価を行うものとする。

第3節 報告書作成

第2節業務内容2-1～2-4について、報告書にとりまとめるものとする。

以 上

作業項目

準備作業

(1業務当り)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
所用日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

現地調査(現地確認, 外業)

(1業務当り)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

現地調査(結果報告, 内業)

(1業務当り)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

別添資料-2

観測計器設置(地下水位計)

(1孔当り)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}					
地質調査技師	人				
主任地質調査員	人				
地質調査員	人				
材料費(雑品)	式				直接人件費の〇%
所要日数					〇日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 材料費は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

観測計器

(1式)

	単位	数量	単価	金額	備考
地下水位計	基	1			
ケーブルキット(L=15m)	式	1			
パロメータ(大気圧補正用)	基	1			
ケーブルキット(L=1.5m)	式	1			
取付金具(地下水位計、パロメータ用)	式	1			
PC接続コード USB型	本	1			

観測(地下水位)

(1孔あたり 1回当り)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}					
地質調査技師	人				
主任地質調査員	人				
地質調査員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の〇%
機械損料 ^{※2、※3}	式				直接人件費の〇%
所要日数					〇日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 材料費、機械損料は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

※3 機械損料には、データ収集用のパソコンの損料を含むものとします。

リフトオフ試験

(10箇所当り)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

頭部詳細調査

(10箇所当り)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

頭部背面調査

(10箇所当り)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

分布図作成(法枠部)

(1式)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

分布図作成(擁壁部)

(1式)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

分布図による法面健全性評価

(1式)

	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 機械経費、材料費等は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

別添資料-2

報告書作成

(1業務当り)

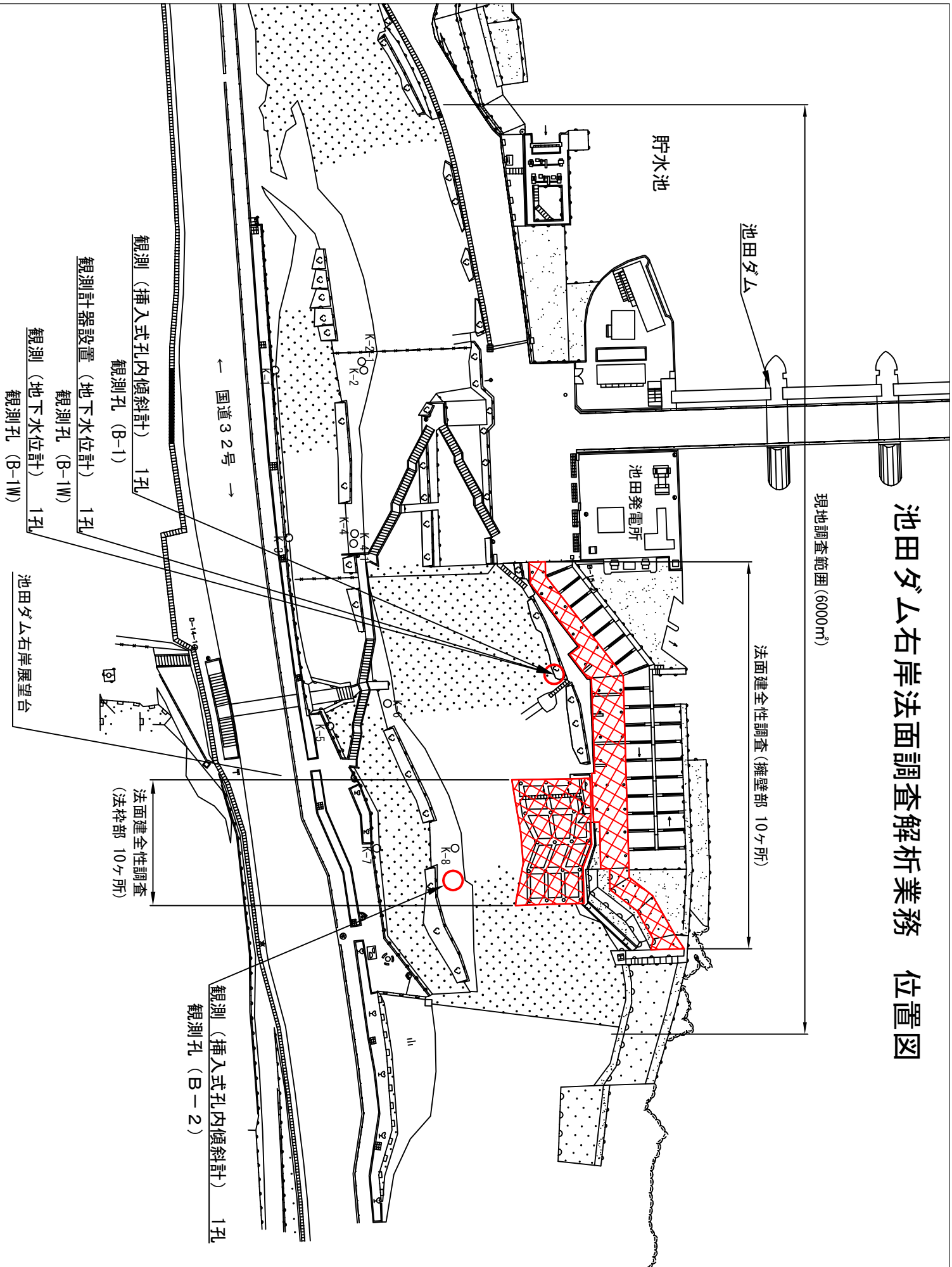
	単位	数量	単価	金額	備考
直接人件費 ^{※1}	式				
主任技術者	人				
技師長	人				
主任技師	人				
技師(A)	人				
技師(B)	人				
技師(C)	人				
技術員	人				
材料費 ^{※2}	式				直接人件費の○%
機械損料 ^{※2}	式				直接人件費の○%
所要日数					○日間
合計(金額)					

作業に掛かる日数を記載して下さい。

※1 直接人件費は必要に応じた技術者を計上してください。

※2 材料費、機械損料は必要に応じて直接人件費の割合で計上してください。

池田ダム右岸法面調査解析業務 位置図



現地調査範囲(6000㎡)

法面健全性調査(擁壁部 10ヶ所)

貯水池

池田ダム

池田発電所

← 国道32号 →

観測(挿入式孔内傾斜計) 1孔

観測孔(B-1)

観測計器設置(地下水水位計) 1孔

観測孔(B-1W)

観測(地下水水位計) 1孔

観測孔(B-1W)

池田ダム右岸展望台

法面健全性調査
(法枠部 10ヶ所)

観測(挿入式孔内傾斜計) 1孔
観測孔(B-2)

K-8

K-2

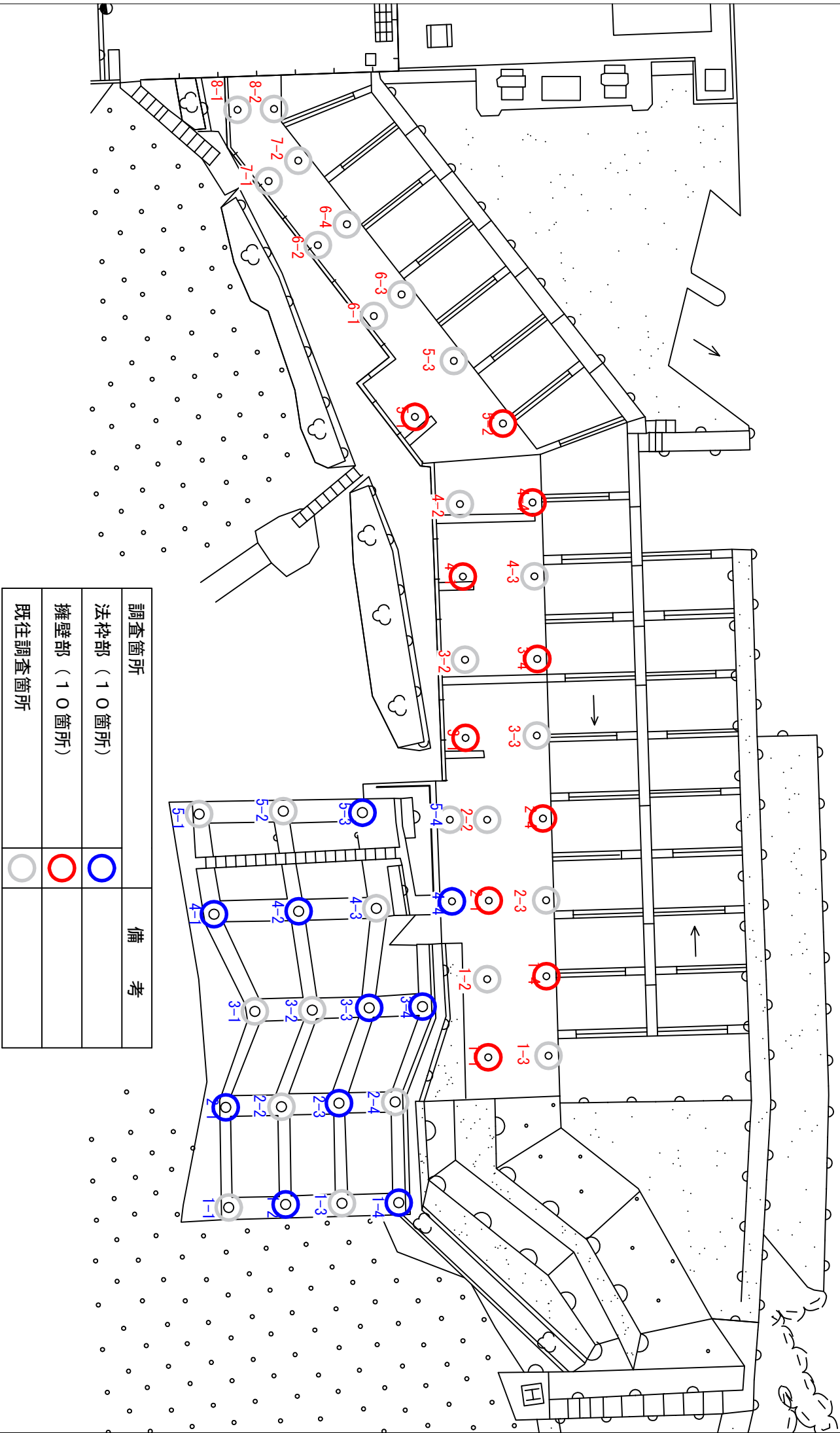
K-4

K-5

K-7

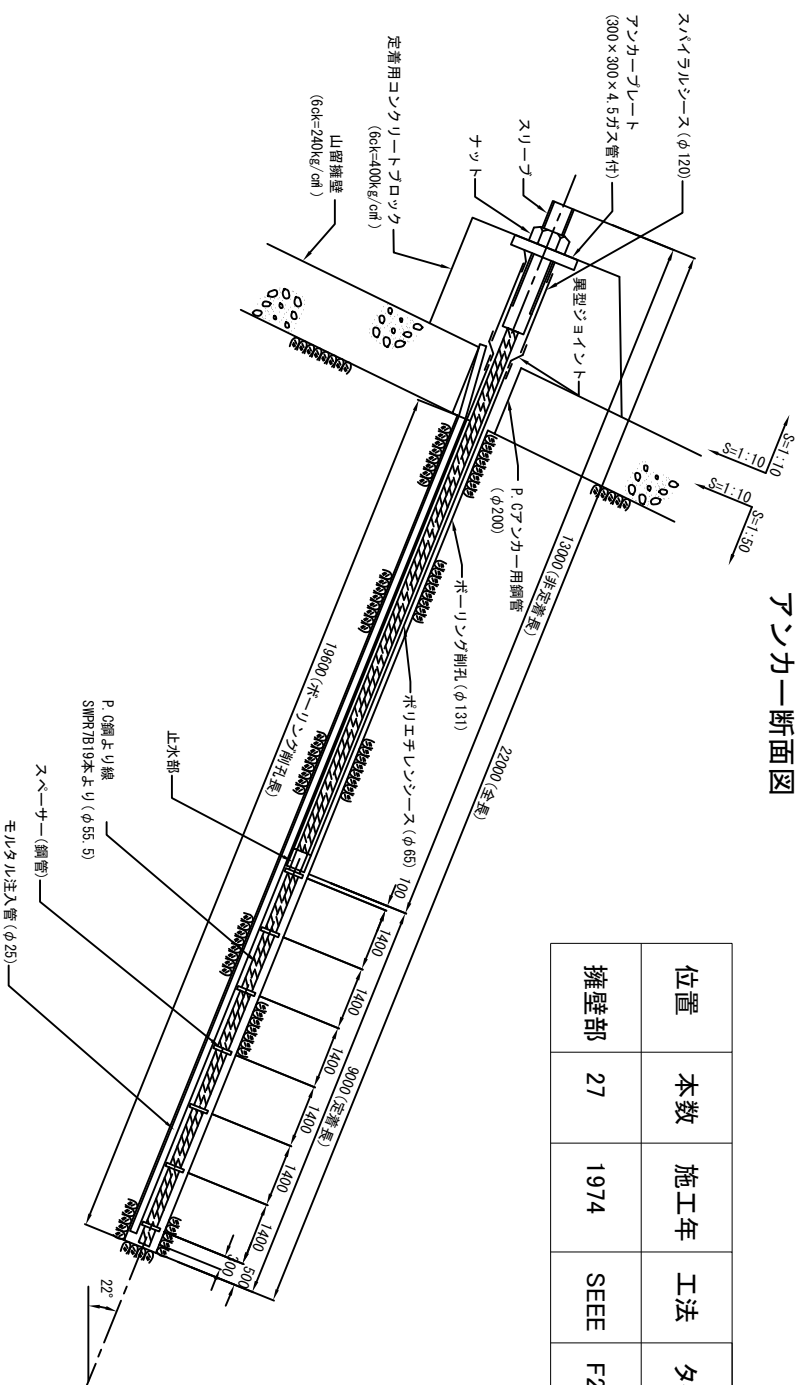
法面健全性調査 位置図

参考図 2



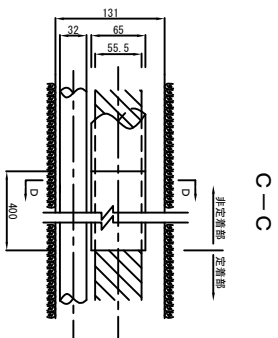
擁壁部 アンカー詳細図

アンカー断面図

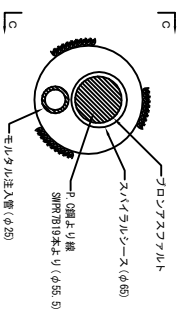


位置	本数	施工年	工法	タイプ	設計荷重 (kN)	降伏荷重 (kN)
擁壁部	27	1974	SEEE	F270	1575.25	2242.0

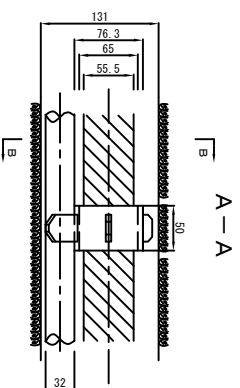
止水部



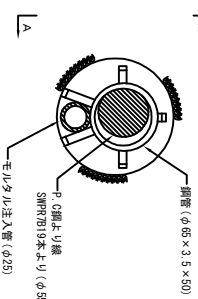
D-D



スプレー詳細図



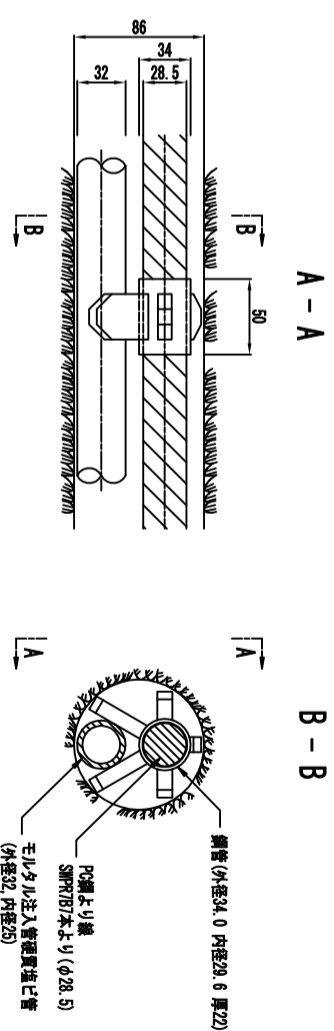
B-B



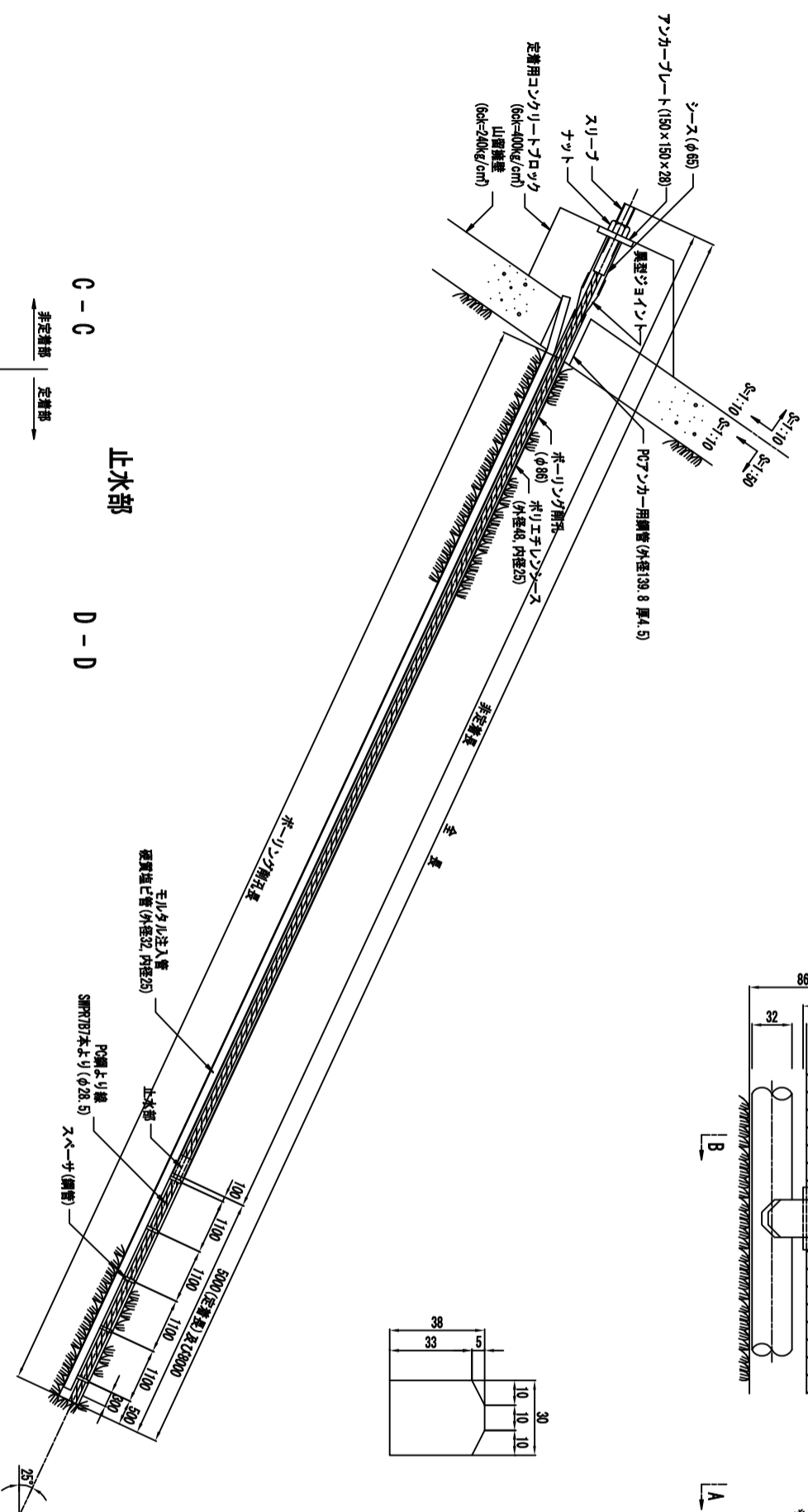
注 1 中ロエチレンシートを敷く。
2 中にコンクリートを流し込む。
3 外面をフラクチャーシートで巻く。

法枠部 アンカー詳細図

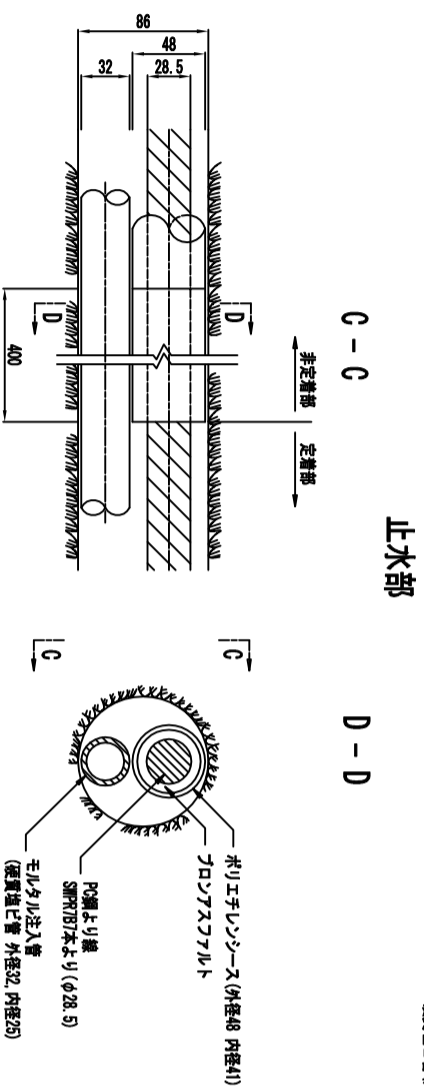
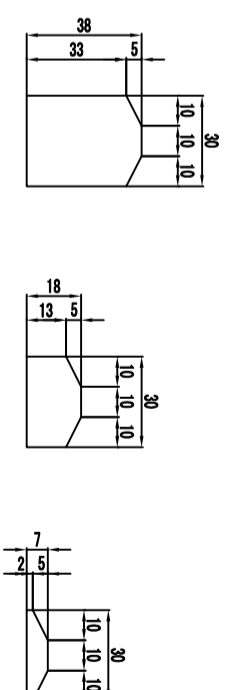
スぺーサー詳細図



アンカー断面図



鋼板加工図

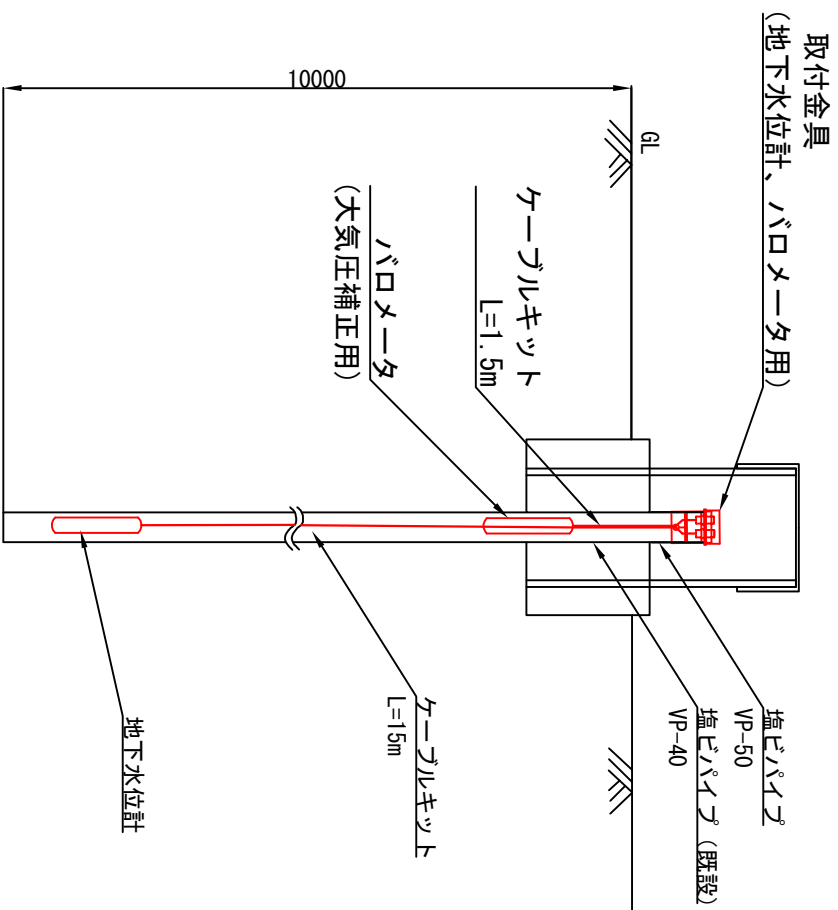


	全長	非定着長	ポリアセチレンス
最上段	2700	19700	27200
第二段	24200	19700	23700
第三段	22200	17200	20700
第四段	19700	14700	18200
	17200	12200	15700

位置	本数	施工年	工法	タイプ	設計荷重 (kN)	降伏荷重 (kN)
法枠部	20	1974	SEEE	F70	428.26	607.6

- 注
1. ポリアセチレンスを抜く。
 2. 中にフロンアスファルトを流し込む。
 3. 外側をラジカチーで巻く。

地下水計設置図



地下水計観測

